

会 議 録

会議録	平成29年度 第3回 豊田市公共交通会議
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) とよたおいでんバスの路線改編について</p> <p>①土橋・豊田東環状線</p> <p>②さなげ・足助線</p> <p>③稲武・足助線</p> <p>(2) 地域バスの路線改編について</p> <p>①稲武地域バス（路線定期運行）</p> <p>②稲武地域バス（区域運行）</p> <p>③旭地域バス（路線不定期運行）</p> <p>④旭地域バス（路線定期運行）</p> <p>(3) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>(4) 名鉄バス自主路線の廃止意向について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 小原地域バスの路線改編について</p> <p>(2) 足助地域バスのあり方を考える調査について(あすけあいプロジェクト実施)</p> <p>(3) 貨客混載実証事業の評価について</p> <p>(4) タクシー活用実証事業の実施について</p> <p>(5) 平成29年度上半期バス利用状況について</p> <p>(6) ユニバーサルデザインタクシーの普及促進について</p> <p>4 その他</p> <p>・レストえきまえ（豊田市駅東口バス待合所）のオープンについて</p> <p>・バスの運行事業者選定状況について</p> <p>5 閉 会</p>
日 時	平成29年12月25日（月） 午後2時00分～午後4時30分
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 山本 進一 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所) 杉本 忠久 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) 桑原 良隆 (愛知県振興部交通対策課) (代理：神谷) 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所維持管理課) 坂部 哲也 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所管理課) 志水 昌吾 (愛知県警察豊田警察署) (代理：緒方) 岩月 正光 (豊田市都市整備部) 小澤 伸也 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) 二宮 京市 (豊田市高齢者クラブ連合会) 釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会) 三浦 司之 (豊田商工会議所) 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会) 古田 寛 (公益社団法人愛知県バス協会) (代理：小林) 深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) 堀田 大祐 (名古屋鉄道株式会社) (代理：河合) 近藤 博之 (名鉄バス株式会社) 横田 太 (豊栄交通株式会社) 西川雄一郎 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	1. 次第 2. 平成29年度 第3回 豊田市公共交通会議 会議資料

(要約)

議事

【協議案件】

(1) とよたおいでんバスの路線改編について

①土橋・豊田東環状線

○事務局 【資料1-1】に基づき説明。

○委員 渋滞の原因とその改善策だが、渋滞の解消ができないからダイヤを改正したのか。また、平日上りを7:05紫橋発とするのではなく、6:51三河豊田駅前発にすることに何か不都合があったのか。

○事務局 市としてはバスの利用促進をして渋滞に対応したいと考えている。7:05紫橋発のダイヤについては、①乗務員の労働時間を考慮した、②現在渋滞による遅延が発生していて後発便が追いついてしまっている、③6:51三河豊田駅前発にすると6:49の前の便と間隔がなくなってしまう、などの理由により7:05紫橋発としている。

○委員 渋滞のためにバスが遅延するというのは周知の事実だと思う。豊田市として、市民のために渋滞の対策についても考えていただきたい。

<協議結果：全員承認>

②さなげ・足助線

- 事務局 【資料1-2】に基づき説明。
- 委員 平日下りの第4便が遅れて広瀬に到着したら、(同時刻発である)第5便は定刻に発車するのか。
- 事務局 広瀬で他の便と調整が行われている。現場の判断で、ほぼ同時刻に乗せこぼしがないように発車をしている。
- 委員 例えば、第4便が混んでいるときに、定期券利用者などが第5便に乗換えることはスムーズにできるのか。
- 事務局 広瀬ではダイヤ上、5分の待機時間があるので乗換はできる。乗換ができないなどの制限はない。
- 委員 広瀬では現在でも、この時間帯には4台のバスが乗り入れており、さらに1台増えることになる。要望として事業者同士、事故の無いように気を付けていただきたい。

<協議結果：全員承認>

③稲武・足助線

(2) 地域バスの路線改編について

①稲武地域バス(路線定期運行)

②稲武地域バス(区域運行)

- 事務局 【資料1-3】【資料2-1】【資料2-2】に基づき説明。(同一内容のため)
- 委員 バス走行サークルを一般車も通るし、歩行者もバス走行サークルを通ることがあるのではないか。バスがバス停に入るとき、子供などとの接触事故が怖い。車が走行する部分と歩行者が通行する部分を明確にするために外側線などを考えて、安全対策をした方が良いのではないか。
- 事務局 バス走行サークルは幅6.5mであり、大型バスの走行軌跡を考慮している。図面上、横断歩道がないが、市道の道路区域であり車道扱いになるため横断歩道はつけられないと聞いている。外側線については今後検討していきたい。バス走行サークルについてはスピードが出ないところなので、危険はないと認識している。
- 委員 走行サークルに面した車枠に停めるには走行サークルをバックすることになり危ない。何かが起こってからでは遅いので気を付けてほしい。
パークアンドライド駐車場は何台くらいの利用を見込んでいるのか。
- 事務局 駐車場は62台分あるが、そのうちどれくらいパークアンドライドの利用があるかはまだ想定がしっかりできていないが、なるべく多くの方に使っていただけるようにPRしていきたい。
- 委員 一般車が送迎でバス走行サークルで待つこともあると思うがどうするのか。また、車いす利用者が横断歩道に行くには駐車場と歩道に段差があり遠回りすることになるが不都合があるのではないか。
- 事務局 送迎の車については運用の中で考えていきたい。車いす利用者については入口(矢印の場所)まで行き歩道を下ることになると思うが、利用状況をみていきたいと考えている。

<稲武・足助線 協議結果：全員承認>

<稲武地域バス(路線定期運行) 協議結果：全員承認>

<稲武地域バス(区域運行) 協議結果：全員承認>

③旭地域バス（路線不定期運行）

④旭地域バス（路線定期運行）

- 事務局 【資料2-3】【資料2-4】に基づき説明。（関連する内容のため）
- 委員 午後0時から午後8時までこの広範な地域を区域運行するというのは素晴らしいことだ。タクシーのように使えて利用が増えるかもしれない。PRをしっかりとやって利用促進をはかってほしい。

<旭地域バス（路線不定期運行） 協議結果：全員承認>

旭地域バス（路線定期運行） 意見等なし。

<旭地域バス（路線定期運行） 協議結果：全員承認>

（3）地域公共交通確保維持改善事業について

- 事務局 【資料3】に基づき説明。
- 委員 「別添1」と「別添1-2」は国土交通省本省の様式で補助対象路線のみ記載するものとなっており、「中部様式」は中部運輸局の様式であり、全体のネットワークを見た上で補助路線を評価するという内容となっている。これらの整合性がとれるように心がけて資料を作成していただきたい。

<協議結果：全員承認>

（4）名鉄バス自主路線の廃止意向について

- 名鉄バス 【資料4】に基づき説明。
- 委員 他路線との競合があるとのことだが、おいでんバスの下山・豊田線はどうして九久平線と重複する路線に設定してあるのか。
- 事務局 おいでんバス下山・豊田線は下山地区の大沼方面、名鉄バスの九久平線は松平地区の中垣内方面に運行しており、目的地が異なる。また、美里地区を運行しておりニーズもあった。
- 委員 おいでんバスを運行するにあたって、既存の名鉄バス路線に合わせて高い運賃となっていると思うが、九久平線廃線に伴って運賃は元に戻すのか。また、利用者の需要を満たすために増便等を考えるにあたって、新規参入などで運行事業者が入れ替わることもあるのか。運転士不足なども考えられると思うが、運行事業者を選定するにあたって何か制限などはあるか。
- 事務局 今後、名鉄バスとさらに協議をしながら運賃を設定していきたい。各運行事業者も運転士不足のため新規参入は難しいかもしれないが、なるべく競争はしてほしいので、門戸は広げたいと考えている。
- 委員 利用者にとって広域的に公平であるように、おいでんバス本来の主旨にのっとり運賃を設定していただきたい。
- 事務局 料金その他についても、今後皆様からご意見をいただきたいと考えている。

<次回2月の公共交通会議にて継続協議>

【報告案件】

(1) 小原地域バスの路線改編について

- 事務局 【報告1】に基づき説明。
意見等なし。

(2) 足助地域バスのあり方を考える調査について(あすけあいプロジェクト実施)

- 事務局 【報告2】に基づき説明。
- 委員 大変良い取組だと思う。プロジェクト用の回数券は、プロジェクト期間外でも使用可能とのことだが、期限を決めた方が良いのではないか。
- 事務局 使い方のアドバイスをして早めに使うように促している。回数券についてはプロジェクトでの買取であり、他の回数券とのバランスもあるため、期限を設定するのは難しい。
- 委員 回数券が買取なら問題ないと思う。
- 委員 どれくらい高齢者にタブレットを配布しているのか。また、あすけあいカーの利用状況は。
- 事務局 タブレット配布は50数名程度、あすけあいカーのドライバー登録も50数名程度だ。あすけあいカーの利用は1ヶ月に20数回程度だ。

(3) 貨客混載実証事業の評価について

- 事務局 【報告3】に基づき説明。
意見等なし。

(4) タクシー活用実証事業の実施について

- 事務局 【報告4】に基づき説明。
意見等なし。

(5) 平成29年度上半期バス利用状況について

- 事務局 【報告5】に基づき説明。
意見等なし。

(6) ユニバーサルデザインタクシーの普及促進について

- 事務局 【報告6】に基づき説明。
- 委員 市内タクシーの状況として車両台数が約260台あるとのことだが、ユニバーサルデザインタクシー導入について、約260台の車両からさらに増加させるのか、タクシー会社が車両を買換えていくことを想定しているのか。
- 事務局 車両を買換えて現在の車両の3分の1程度をユニバーサルデザインタクシーにしたいと考えている。

4 その他

・ レストえきまえ（豊田市駅東口待合所）のオープンについて

- 事務局 【その他資料】に基づき説明。
意見等なし。

・ バスの運行事業者選定状況について

- 事務局 【次第裏面】に基づき説明。
意見等なし。

・ 次回、会議の開催予定について（平成30年2月の開催を予定。）

以上